

平成22年11月期 第1四半期決算短信

平成22年4月13日

上場取引所 東

上場会社名 北興化学工業株式会社

コード番号 4992 URL <http://www.hokkochem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 丸山 孝雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 渡辺 英夫

TEL 03-3279-5152

四半期報告書提出予定日 平成22年4月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年11月期第1四半期の連結業績(平成21年12月1日～平成22年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年11月期第1四半期	12,371	21.1	609	744.5	564	—	298	—
21年11月期第1四半期	10,219	—	72	—	35	—	△339	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年11月期第1四半期	10.78	—
21年11月期第1四半期	△12.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年11月期第1四半期	49,612	13,892	28.0	503.13
21年11月期	44,031	13,477	30.6	488.08

(参考) 自己資本 22年11月期第1四半期 13,892百万円 21年11月期 13,477百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年11月期	—	5.00	—	3.00	8.00
22年11月期	—	—	—	—	—
22年11月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年11月期の連結業績予想(平成21年12月1日～平成22年11月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期連結累計期間	26,000	25.3	850	495.1	550	—	300	—	10.87
通期	47,500	29.3	900	—	600	—	320	—	11.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年11月期第1四半期 29,985,531株 21年11月期 29,985,531株

② 期末自己株式数 22年11月期第1四半期 2,374,520株 21年11月期 2,372,974株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年11月期第1四半期 27,611,779株 21年11月期第1四半期 27,620,234株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の回復にともなう輸出の増加が牽引となり、持ち直し基調が継続いたしました。しかしながら、依然として物価の下落傾向は止まらず、デフレによる経済回復の遅れが懸念されます。

このような状況の中、当社グループは、農薬製品、農薬以外のファインケミカル製品ともに積極的な販売に努めました結果、全体の売上高は123億7千1百万円（前年同期比21億5千2百万円の増加、同21.1%増）となりました。

利益面では、売上高の増加に加え、一般管理費販売費の節減に努めたことおよび一部の研究開発費等の支出が第2四半期以降になった結果、営業利益は6億9百万円（前年同期比5億3千7百万円の増加）、経常利益は5億6千4百万円（前年同期比5億3千万円の増加）、四半期純利益は2億9千8百万円（前年同期は四半期純損失3億3千9百万円）となりました。

事業部門別の概況は以下のとおりです。

【ファインケミカル事業部門】

〔農 薬〕

ファインケミカル事業の主力である農薬製品は、主に国内販売において、水稲用一発処理除草剤ロングキック各剤、園芸用殺虫剤サムコルフロアブル10・プレバソンフロアブル5、園芸用殺菌剤アフェットフロアブルなど新剤の販売により売上高が増加した結果、農薬製品全体の売上高は90億7千2百万円（前年同期比10億1千7百万円の増加、同12.6%増）となりました。

〔農薬以外のファインケミカル〕

農薬以外のファインケミカル製品の販売は、経済の持ち直し基調を受け、前年度、景気後退による減産や在庫調整の影響を大きく受けた電子材料原料、樹脂添加剤などの需要が回復しつつあることから、売上高は32億7千6百万円（前年同期比11億4千6百万円の増加、同53.8%増）となりました。

以上の結果、当事業部門の売上高は123億4千8百万円（前年同期比21億6千3百万円の増加、同21.2%増）となりました。

【その他事業部門】

石油製品等その他の売上高は、販売量が減少したことにより、2千3百万円（前年同期比1千1百万円の減少、同31.6%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1)資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産の残高は496億1千2百万円となり、前連結会計年度末比55億8千1百万円の増加となりました。これは農薬の需要期となる第1四半期の季節的変動による受取手形及び売掛金等の増加が主な要因です。

負債の残高は357億2千万円となり、前連結会計年度末比51億6千6百万円の増加となりました。これは原材料購入等の季節的変動に伴う支払手形及び買掛金の増加が主な要因です。

純資産の残高は138億9千2百万円となり、前連結会計年度末比4億1千5百万円の増加となりました。

(2)キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、11億9千2百万円の支出超過(前年同期比79.0%減)となりました。これは、仕入債務の増加はありましたが、主に売上債権の増加および未払費用の減少によるもので、第1四半期特有の傾向であります。

また、支出超過額が前年同期に比べ大幅に減少しましたが、これは、棚卸資産の減少および税金等調整前四半期純利益の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、5億1千3百万円の支出超過(前年同期比19.0%減)となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、12億4千9百万円の収入超過(前年同期比87.5%減)となりました。これは、主に長期借入金の増加によるものです。

(現金及び現金同等物の四半期末残高)

現金及び現金同等物の四半期末残高は、期首残高より4億3千1百万円減少し、8億7千5百万円(前年同期比83.6%減)となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年11月期決算発表時(平成22年1月15日)に公表いたしました、連結業績予想に変更ありませんが、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①簡便な会計処理

I. 有価証券の減損処理方法

四半期連結会計期間末における有価証券の減損処理にあたっては、四半期洗替え法を採用しております。

II. 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算出にあたっては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	875	1,306
受取手形及び売掛金	17,030	11,760
商品及び製品	10,873	11,403
仕掛品	285	245
原材料及び貯蔵品	3,775	3,204
繰延税金資産	467	513
その他	178	175
貸倒引当金	△8	△6
流動資産合計	33,474	28,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,069	3,534
機械装置及び運搬具(純額)	4,573	3,637
土地	781	781
その他(純額)	474	2,147
有形固定資産合計	10,898	10,099
無形固定資産		
ソフトウェア	124	143
その他	264	260
無形固定資産合計	388	404
投資その他の資産		
投資有価証券	2,720	2,485
繰延税金資産	1,775	2,086
その他	368	370
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	4,852	4,928
固定資産合計	16,138	15,431
資産合計	49,612	44,031

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,143	6,545
短期借入金	7,385	6,777
1年内返済予定の長期借入金	1,764	1,618
未払法人税等	63	94
未払費用	1,883	3,449
賞与引当金	156	—
その他	2,482	1,860
流動負債合計	24,876	20,343
固定負債		
長期借入金	6,686	6,081
退職給付引当金	3,263	3,206
環境対策引当金	749	750
その他	145	174
固定負債合計	10,843	10,211
負債合計	35,720	30,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	8,420	8,205
自己株式	△989	△989
株主資本合計	13,253	13,039
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	848	708
繰延ヘッジ損益	△2	△17
為替換算調整勘定	△206	△252
評価・換算差額等合計	639	438
純資産合計	13,892	13,477
負債純資産合計	49,612	44,031

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)
売上高	10,219	12,371
売上原価	7,965	9,780
売上総利益	2,254	2,591
販売費及び一般管理費	2,181	1,982
営業利益	72	609
営業外収益		
受取利息及び配当金	18	11
為替差益	—	21
その他	42	18
営業外収益合計	60	50
営業外費用		
支払利息	55	74
その他	43	21
営業外費用合計	98	95
経常利益	35	564
特別利益		
固定資産売却益	1	1
貸倒引当金戻入額	3	0
特別利益合計	4	1
特別損失		
固定資産除却損	31	7
投資有価証券評価損	29	—
たな卸資産評価損	526	—
特別損失合計	587	7
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△548	558
法人税等	△210	260
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△339	298

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年12月1日 至平成21年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△548	558
減価償却費	360	471
退職給付引当金の増減額(△は減少)	45	58
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△8	△35
賞与引当金の増減額(△は減少)	267	156
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	2
受取利息及び受取配当金	△18	△11
支払利息	55	74
投資有価証券評価損益(△は益)	29	—
売上債権の増減額(△は増加)	△3,612	△5,267
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,822	△76
仕入債務の増減額(△は減少)	3,637	4,796
未払費用の増減額(△は減少)	△2,376	△1,580
その他	△620	△245
小計	△5,614	△1,098
利息及び配当金の受取額	18	11
利息の支払額	△49	△62
法人税等の支払額	△55	△43
法人税等の還付額	14	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,685	△1,192
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△643	△507
有形固定資産の売却による収入	7	1
その他	3	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△633	△513
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	7,694	589
長期借入れによる収入	2,400	1,000
長期借入金の返済による支出	—	△270
配当金の支払額	△114	△69
その他	△2	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,979	1,249
現金及び現金同等物に係る換算差額	44	24
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,704	△431
現金及び現金同等物の期首残高	1,629	1,306
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,333	875

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成20年12月1日至平成21年2月28日)および当第1四半期連結累計期間(自平成21年12月1日至平成22年2月28日)

当社グループの主たる事業は、農薬及び農薬以外のファインケミカル製品の製造及び販売であり、当該事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計額及び営業利益の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

(所在地別セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成20年12月1日至平成21年2月28日)および当第1四半期連結累計期間(自平成21年12月1日至平成22年2月28日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

(海外売上高)

前第1四半期連結累計期間(自平成20年12月1日至平成21年2月28日)および当第1四半期連結累計期間(自平成21年12月1日至平成22年2月28日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。